

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんあまーびれふいるはーもにーかんげんがくだん 一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 大門信哉		
制作団体所在地	〒 567-0804		
	大阪府茨木市総持寺台1-14-1		
電話番号	072-697-9888	FAX番号	072-697-9881
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんあまーびれふいるはーもにーかんげんがくだん 一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 大門信哉		
公演団体所在地	〒 567-0804		
	大阪府茨木市総持寺台1-14-1		
制作団体 設立年月	2015年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長／大門信哉 副理事長／堂免直孝		事務局員5名 ライブラリアン1名 客員コンサートマスター1名 演奏員18名(演奏員は一般公募オーディションによる採用)
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	堂免直孝
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	山野展弘

<p>制作団体沿革</p>	<p>一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は200を超える。創立5年にして2020年6月に日本オーケストラ連盟に準会員として加入し、地元茨木市に根付いた活動に重点を置きながらも広く演奏活動に取り組む。2021年度で「定期演奏会」は第10回、ソリストを主役に迎える「コンチェルトシリーズ」は第15回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた「サロンコンサートシリーズ」は第162回を迎える。その他、「親子コンサート」や茨木市を中心とした学校などの教育機関への有償訪問公演、外部からの依頼公演などを実施している。また2020年より楽団Youtubeアカウントから積極的に演奏動画を発信しており、コロナ禍における若い演奏家の演奏機会創出や、広い世代へのクラシック音楽の振興、より広く楽団を周知する活動等に努めている。</p>						
<p>学校等における公演実績</p>	<p>茨木市を中心とした幼稚園、保育園、小学校への有償訪問公演。また0歳児からの子どもをもつ親子を対象とした主催公演「親子コンサート」は2020年度はコロナ禍で開催できなかったが、2019年度で7回開催し全公演で完売を達成した。</p>						
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>まだなし</p>						
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p>	<p>無</p>				
		<p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p>	<p>無</p>				
		<p>※公開資料有の場合URL</p>					
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:							
PW:							
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
		<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/mSn0No14_UU</p>				
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:							
PW:							

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	オーケストラを「知る」クラシックコンサート			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①ロッシーニ/ウィリアムテル序曲 より スイス軍の行進 (3分) ②グリーグ/ホルベルク組曲 より プレリュード (4分) ③山田耕筰・北原白秋/からたちの花 (声楽独唱) (4分) ④ラヴェル/クーブランの墓 より メヌエット (木管五重奏版) (3分) ⑤リズムの効果体感コーナー～バッハ/管弦楽組曲第3番 より 第2曲「アリア」を使って～ (6分) 休憩15分 ⑥指揮者体験コーナー～ビゼー/カルメン より「前奏曲」を使って～ (8分) ⑦物語と音楽～チャイコフスキー/くるみ割り人形～ (20分) ⑧校歌をオーケストラで歌おう(聴こう) 【コロナ禍における対応として、子どもたちが歌うかどうかは学校側と協議のうえ選択していただきます】 ⑨ヨハン シュトラウス2世/美しく青きドナウ (7分) アンコール ヨハン シュトラウス/ラデツキー行進曲 (3分) 終演後 コロナ感染症対策を学校と協議したうえで「ヴァイオリン体験」か「出演者への質問コーナー」を選択していただく。児童・生徒の数にもよるが10分程度を予定。</p> <p style="text-align: right;">公演時間(約90～100分)</p>			
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得予定 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	別添あり			
演目選択理由	<p>●クラシック音楽は西洋から始まった文化ではありますが、本プログラムではオーケストラを身近に感じていただく狙いに加えて、「日本固有の魅力と併せて発信する」という狙いを持って選考した演目を含んでいます。東京オリンピック開会式等で日本の音楽作品が使用され注目を浴びました。その流れを汲んで今こそ日本の音楽作品を日本の子供に向けて発信していく時だと感じています。</p> <p>●リズムの効果体感コーナー～バッハ/管弦楽組曲第3番 より 第2曲「アリア」を使って～では、感染症対策の観点でプログラムを考えた時、対策を講じない状態での合唱は危険を伴います。来年度開催を視野に入れたとしても、安心できる選択肢を用意しておくことは重要かと思ひ、感染リスクの高い合唱やリコーダー演奏を伴わず、且つしっかりと会場全体が参加できる演目を用意しました。</p> <p>●物語と音楽～チャイコフスキー/くるみ割り人形～では、ただ受動的に鑑賞するだけではなく、聴衆に各々自身の脳内でその情景を想像し、再生しながら鑑賞していただく事で、音楽の持つ効果をより多く感じていただく演目です。ただテレビから流れて来ただけだった音楽の効果や力を、改めて感じていただける内容となっております。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>●リズムの効果体感コーナー/上記にもあるように、2022年度の新型コロナウイルス感染症対策がどのように変化しているかを考慮した上で、歌唱やリコーダーを伴わず、手拍子での参加を効果的に練った演目となります。参加者に演奏していただくリズムパターンはワークショップを含め本公演内でも当団演奏者がレクチャーし、本公演に於いても前に立ち先導してより一体感をもって参加していただけるよう練っております。曲の進行と共に編成も大きくなりリズムの効果が高まるよう編曲を施してあります。</p> <p>●校歌/実際に歌うかどうかは各学校で対応が変わると思ひますので、距離を開けて歌う、マスクをしたまま歌う、口を開けずハミングで歌う、聴くのみとする、等、協議の上で実施方法は選択していただきます。</p> <p>●指揮者体験コーナー/指揮者の実演と指揮解説とレクチャーを行った後、実際にオーケストラを指揮していただきます。2名を考えておりますが、体験者の選考方法や人数は学校側のご要望に柔軟に対応させていただきます。</p> <p>●ヴァイオリン体験コーナーOR質問コーナー/感染症対策の観点から、各地域や学校によって対策の対応観念に違いがあると思ひますので、実際に本物のヴァイオリンに触れて子どもたちに音を出していただくか、児童・生徒から楽員に向けた質問コーナーにするかは選んでいただきます。</p>			
出演者	<p>指揮者/加藤完二(調整中) うた・司会・語り/1名(調整中) 管弦楽/一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団</p> <p>本公演に参加する編成 フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、トランペット1名、トロンボーン1名、打楽器奏者1名 ヴァイオリン5名、ヴィオラ2名、チェロ2名、コントラバス1名</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 20 名 スタッフ: 4 名 合計: 24 名	機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車長: 6.5 m 台数: 1 台	

【公演団体名 一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間	1	時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	仕込 9時～10時 GP 11時～12時	13時30分～15時	15分	15時～16時	16時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		150名程度			
	本公演		400名程度(一般的に体育館に収容できる人数であれば実施可能)			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>演奏者4名、スタッフ1名を派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーケストラで使用する楽器の仕組みや特徴を実演を伴い解説する。 ●演奏者によるミニコンサート。 ●本公演「リズムの効果体感コーナー」で共演する為のリズム講座。ジャンルや曲によって異なるリズムパターンの違いなども併せて実演を伴い解説する。 ●リズム講座を踏まえ、シンプルなリズムを使って共演。 					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>演奏家による実演を交えた直接指導により、本公演での共演がより良い完成度で迎えられるための手助けを行う。</p> <p>感染症対策を念頭に置いた音楽授業への取り組み方を最新ガイドラインに沿ってレクチャーする。来るかもしれないウィズコロナ時代を視野に入れた、今後の鑑賞スタイルの提案と振興。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>各学校によってより綿密に打ち合わせし、児童・生徒一人一人の実情と実演に於いての到達点に沿った内容に変更し実施する。</p> <p>リズム講座でのリズムパターンの難易度の調整など、柔軟に対応できるようオプションを用意していく。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団】
公演概要	<p>●ロッシーニ／ウィリアムテル序曲 より スイス軍の行進 まずは華々しい金管楽器のファンファーレから始まる軽快で迫力のある曲で幕開けします。</p> <p>●グリーグ／ホルベルク組曲 より プレリュード 2曲目からは前半全体を通して、オーケストラの基本となる弦楽器から順番に楽器を紹介しながら進めていく形になります。まずは弦楽器の紹介の後、弦楽合奏の代表的な作品であるこの曲から。</p> <p>●山田耕筰・北原白秋／からたちの花（ソプラノ独唱） 3曲目は、普段音楽の授業でも子どもたちが行っている「うた」の紹介。歌唱も演奏家になるとこんなに違うものであると思っただくと共に、日本人作曲家の作品を取り上げる事で、日本語であるがゆえにその歌詞の素晴らしさ、国内音楽作品の素晴らしさが伝わります。</p> <p>●ラヴェル／クーブランの墓 より メヌエット 弦楽、歌と紹介した後は、木管楽器で室内楽の形式も併せてご紹介します。木管楽器のアンサンブルは、発音システムが同じである弦楽合奏とは違い、それぞれが違う発音システムを持つ楽器の、言わば異種格闘技のような魅力があります。この個性のぶつかりが生み出す音楽がオーケストラにこの後どのように作用するのかに注目していただきます。</p> <p>●リズムの効果体感コーナー～バッハ／管弦楽組曲第3番 より 第2曲「アリア」を使って～ 管楽器と打楽器の紹介をした後、弦楽器のみで通常演奏される「G線上のアリア」を原曲でまずは聴いていただき、それから曲の進行と共に徐々に「リズム」「管楽器」を順に加え編成を大きくしていき、最終的に静かな曲でもいろんな楽器が加わる事でこんなに華やかな演奏になる、という編曲を施してあります。挿入するリズムはMCと打楽器奏者が導き、子どもたちにも手拍子で参加していただき、会場全員参加型の演目となります。</p> <p>●指揮者体験コーナー～ビゼー／カルメン より 「前奏曲」を使って～ 指揮者によるレクチャーの後、子どもたちに実際に指揮者となりオーケストラを指揮していただきます。2名を予定しています。</p> <p>●音楽のちから体感コーナー～チャイコフスキー／くるみ割り人形～ ここで演奏するのは以下となります。 ①小序曲 ②行進曲 ③くるみ割り人形とネズミの戦い ④トレパック ⑤葦笛の踊り ⑥花のワルツ チャイコフスキーが残した名楽曲を知ると共に、感情を乗せて聴いていただく事で子どもたちに音楽がもたらす効果について認識していただく事ができます。チャイコフスキーがどのような場面を表現しようとして書いた音楽なのか、を意識して聴いていただきます。</p> <p>●校歌をオーケストラで歌おう(聴こう) 普段慣れ親しんでいる校歌を、オリジナル編曲で子どもたちと一緒に演奏します。コロナ対策方を学校側と協議し、最適な方法で演奏します。</p> <p>●ヨハン・シュトラウス2世／美しく青きドナウ プログラム最後には、一曲でありながら様々な旋律のワルツが繋がって演奏される「美しく青きドナウ」で締めくくります。目まぐるしく旋律と楽器が入れ替わるので、最後まで興味を持って聴いていただく事ができるでしょう。</p>	

アマールビレフィルハーモニー管弦楽団
2022巡回公演出演メンバー表(予定)

	氏名
指揮	加藤完二
コンサートマスター	釋伸司
ヴァイオリン	藪野巨倫
ヴァイオリン	木村修子
ヴァイオリン	三谷りょう
ヴァイオリン	立花礼子
ヴィオラ	宇佐見優
ヴィオラ	駒木愛弓
チェロ	山岸孝教
チェロ	山岸亜友美
コントラバス	大島明子
フルート	樋口藍
オーボエ	福盛貴恵
クラリネット	濱松春菜
バスーン	木村卓巳
ホルン	東本真奈
トランペット	西谷良彦
トロンボーン	大藤優香
打楽器	樽井美咲
うた(司会)	藤本裕貴

オーケストラを「知る」 クラシックコンサート

聴いたことのある楽曲や、知っている曲目が
本物のオーケストラ演奏で体感いただけます。
オーケストラの生の音で、クラシック音楽の魅力を是非ご堪能ください。

Program

- ・ロシーニ／ウィリアム・テル序曲 より スイス軍の行進
- ・グリーグ／ホルベルク組曲 より プレリュード

～声楽独唱～

- ・山田耕筰・北原白秋／からたちの花

～木管五重奏～

- ・ラヴェル／クーブランの墓 より メヌエット

リズムの効果体験コーナー

- ・バッハ／管弦楽組曲第3番 より 第2曲「アリア」を使って

—休憩15分—

指揮者体験コーナー

- ・ビゼー／カルメン より 「前奏曲」を使って

～物語と音楽～

- ・チャイコフスキー／くるみ割り人形

校歌をオーケストラで歌おう(聴こう)

- ・ヨハン シュトラウス2世／美しく青きドナウ

授業で習う
日本語の楽曲も
声楽家による演奏で
イメージが変わる!



クラシックって
こんなに
面白いんだ!
と実感!



音楽を奏でる
ワクワク、
オーケストラ演奏の
魅力が伝わります!



リズムの効果 体験コーナー

あなたも
オーケストラの一員!
手や足を使って打楽器のように
音を出し、プロの楽団員と一緒に
演奏に参加・音を奏でる楽しさ
を体感していただけます。

指揮者体験コーナー

本物のオーケストラを
指揮できる滅多にないチャンス!
子どもの感性を刺激し、
新たな才能が開花するかも
しれません。

校歌をオーケストラで 歌おう(聴こう)

貴校の校歌を
オーケストラにアレンジ。
子どもたちが歌うかどうかは
学校側と協議の上選択して
いただけます。

終演後

子どもたちに、ヴァイオリン体験か演奏者への質問コーナーを実施します。
※児童・生徒の数や感染症対策を学校側と協議の上選択していただけます。



プログラム・ノート (解説)

◆ジョアキーノ・ロッシーニ (1792-1868)

オペラ《ウィリアム・テル》序曲「スイス軍の行進」

ロッシーニは多くのオペラを残したことで知られるイタリア生まれの作曲家です。このオペラは、作家シラーによって書かれた物語を元にして1829年に作曲されました。このオペラの題名になっているウィリアム・テルとはスイスの英雄の名前です。「スイス軍の行進」は、オペラが始まる前の序曲の中で演奏されます。ホ長調で書かれた明るく元気な行進曲です。管楽器がきらきら輝くようなファンファーレを鳴らすと、音符はまるで馬のようにかけ抜けていきます。

◆エドヴァルド・グリーグ (1843-1907)

組曲《ホルベアの時代より》Op.40より〈プレリュード〉

グリーグは北ヨーロッパのノルウェーの作曲家です。自然や人々の生活、歴史、そして詩を音楽で描くことが自分の使命だ、と述べていたそうです。この組曲は、ホルベアというノルウェーの作家が生きた18世紀の時代をイメージして1884年に作られました。最初はピアノで演奏する曲として書かれていましたが、のちに弦楽器のオーケストラ用にも書きかえられました。プレリュードには、第1曲目や前奏曲という意味があります。

◆山田耕筰 (1886-1965) (北原白秋・詞)

〈からたちの花〉

この曲は1925年に発表された童謡です。この時期、日本では作家の間で赤い鳥運動という活動が起こって数多くの童謡が生まれました。この童謡の詞は、山田耕筰の少年時代の思い出をもとに、北原白秋によって書かれました。山田少年は町の工場で一生涯懸命働いていました。その合間に、真っ白いからたちの花に目も心もうばわれてしまう瞬間があったようです。

◆モーリス・ラヴェル (1875-1937) (メイソン・ジョーンズ編)

組曲《クーランの墓》M. 68aより〈メヌエット〉

この組曲はフランスの作曲家ラヴェルによって1914年から1917年の間に書かれました。第一次世界大戦で戦死した友人に捧げられています。最初はピアノのために作られたものでした。今日は5つの管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット）による演奏を聞きます。ラヴェルは、17世紀フランスの作曲家クーランの鍵盤作品にみられるような作曲方法をこの組曲に使いました。メヌエットは3拍子の踊りのための優雅な音楽です。

◆ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685-1750)

管弦楽組曲第3番ニ長調 BWV1068より〈アリア〉

バッハは、教会で演奏されるような作品の他にも多くのオーケストラ曲を書きました。この作品もその一つです。いつ作曲されたのかははっきりと分かっていませんが、ドイツのヴァイマルかケーテンで書かれたと考えられています。〈アリア〉は主に弦楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）によって演奏されます。

◆ジョルジュ・ビゼー (1838-1875)

オペラ《カルメン》より〈前奏曲〉

オペラ《カルメン》は、フランス人作家メリメの小説を原作として作曲されました。1875年にパリのオペラ・コミック座で《カルメン》の公演が初めて行われました。物語では、スペイン・セビリアの女工カルメンをめぐって兵士ドン・ホセの恋心とその悩みが描かれます。そして、そのホセの恋のライバルとして現れるのが闘牛士エスカミーリョです。この〈前奏曲〉は、エスカミーリョが闘牛場へ入場するための行進曲として書かれたものです。

◆ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー (1840-1893)

バレエ《くるみ割り人形》Op. 71より〈小序曲〉、 〈行進曲 〈くるみ割り人形とねずみの戦い〉〉 〈トレパック (ロシアの踊り)〉〈葦笛 (フランスの踊り)〉〈花のワルツ〉

バレエ《くるみ割り人形》は1892年、ロシア・サンクトペテルブルクのマリインスキー劇場で初めて上演されました。原作はフランスの作家デュマによる童話です。クリスマス・イヴに少女がくるみ割り人形に誘われて旅をする、という物語が描かれます。〈行進曲〉までは、少女の家でのお祝いの情景が描写されます。くるみ割り人形はクリスマス・イヴに少女の家に来ました。彼は王子となって、ねずみとの戦いに加勢した少女を、仲間たちと住む「不思議の国」でもてなすことにします。そこでは甘い香りのする幻想的な踊りが、次々と繰り広げられていきました（今日は、ロシアの伝統的な踊りをもとにした〈トレパック〉、フランスの素朴な踊りをイメージした〈葦笛〉、そして花の精が舞う〈花のワルツ〉を聞きます)。そしてクリスマスの朝、少女はいつも通り元気に朝を迎えます。枕元にはくるみ割り人形もちょこんと座っていました。

◆ヨハン・シュトラウス二世 (1825-1899)

《美しく青きドナウ》Op. 314

この曲は1867年、オーストリアの作曲家シュトラウス二世によって書かれたワルツです。ウィーンを流れるドナウ川がイメージされています。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の「ニューイヤーコンサート」では、父シュトラウス一世の《ラデツキー行進曲》と共にこのワルツがアンコールとして取り上げられることが多くなっています。

文：杉山 恵梨

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K149	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	F/H	区分	C区分
公演団体名	[C区分]一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団				制作団体名	一般社団法人 アマービレフィルハーモニー管弦楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	5室	条件	指揮者1名、歌手1名、男性、女性。着替えをしますので、カーテンがある部屋を希望します。				可	
搬入について	来校する車両の大きさ台数 *			バン	1台	中型バス	2台	可	
				乗用車	2台			可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			狭路等で学校敷地まで到達できない場合は、軽トラック等への積み替えを検討致します。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン(長さ4.7m、幅1.7m、高さ2.25m)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			搬入経路に楽器を通す間口さえあれば、体育館から離れた搬入場所からでも状況に応じて搬入方法を検討します。				可	
	理由			手運びで搬入できる荷物のみで伺いますので、搬入経路が平場でなくても問題ありません。雨天の場合は雨避けのカバー等を使って搬入します。					
	設置階の制限 *			問わない				—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	0.8m	高さ	1.5m		可	
WSについて	参加可能人数	150名程度					可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				—		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			400名程度(一般的に体育館に収容できる人数であれば実施可能)				可	
	舞台設置場所 *			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	7m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要				—
		舞台袖スペースの条件 *							—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			—
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	楽器に直射日光が当たる場合のみカーテンを部分的に使用します			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			15A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談	
学校備品のワイヤレスマイクを3本お借りして公演に使用します。(スタンド持ち込み)							可		
ワイヤレスマイクが使用できない、公演に適していない場合は持ち込みPAセットを使用します。							可		
公演に使用しますので、パイプ椅子35脚、長机6脚をお借りできると幸いです。							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	0.8m	高さ	1.5m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

